

語彙活語指掌

完

815.4

M753g

078263-000-8

815.4-M753g

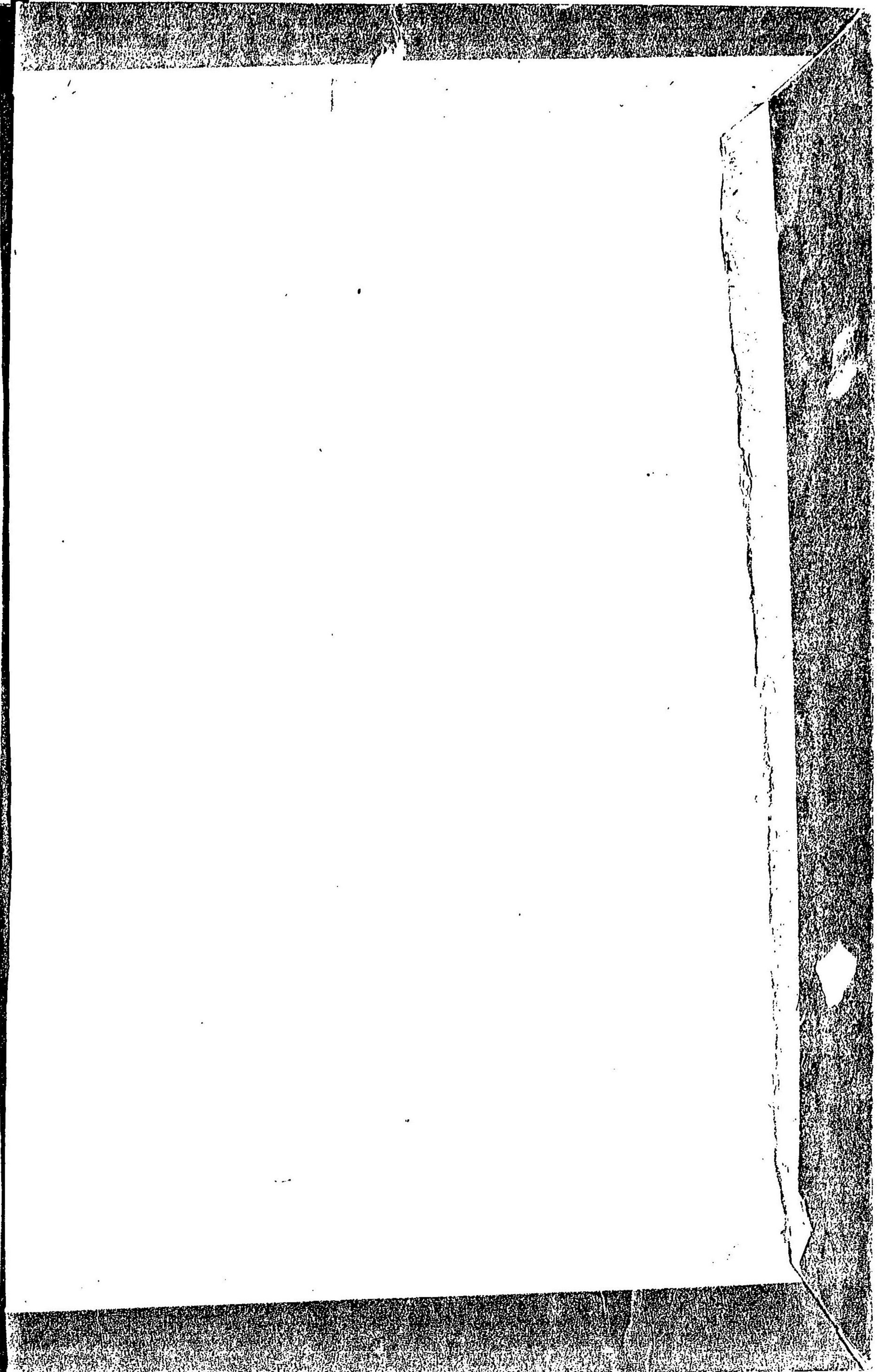
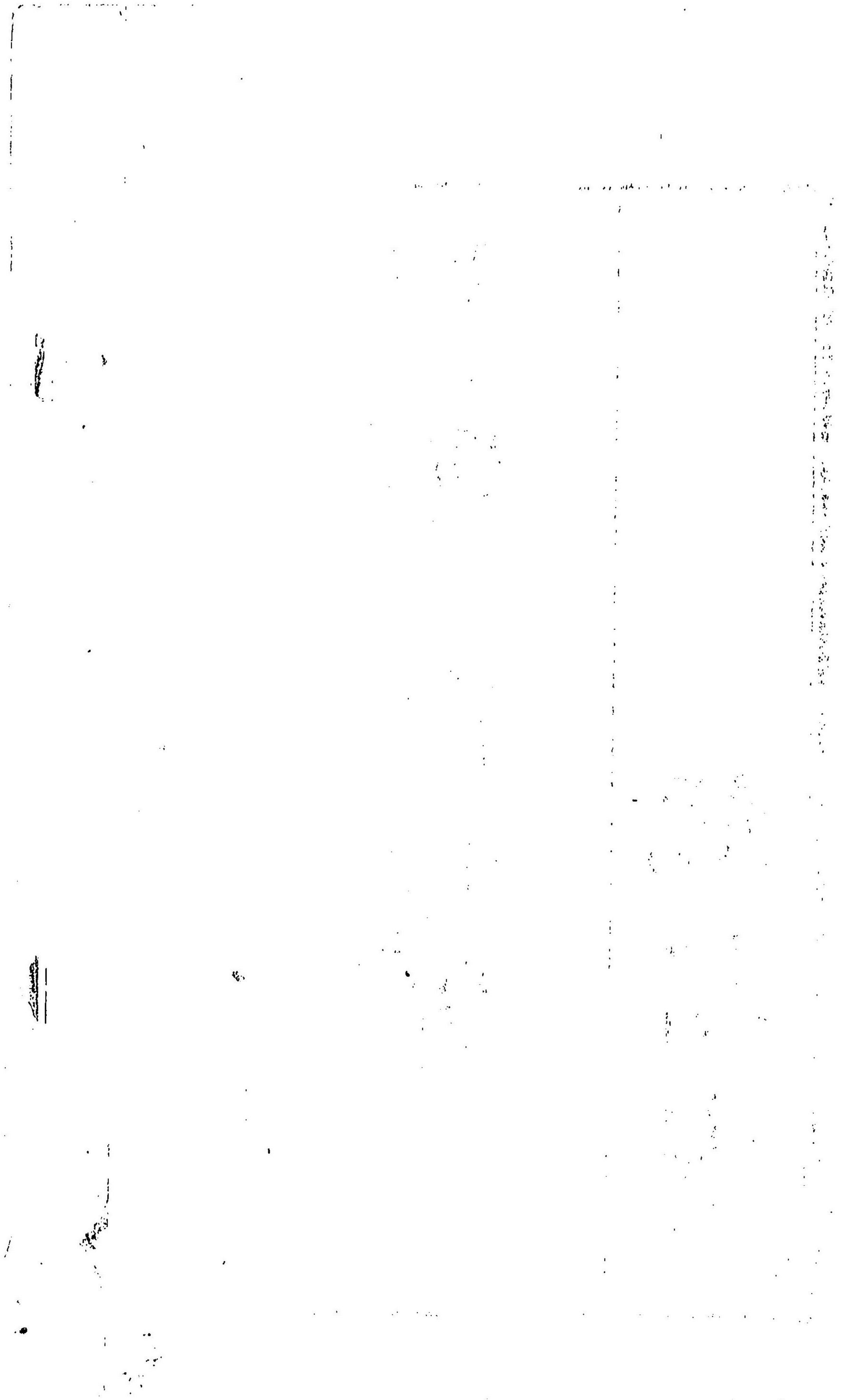
語彙活語指掌

文部省編輯寮／編

M4. 11

DAC-1885





明治四年十一月刻

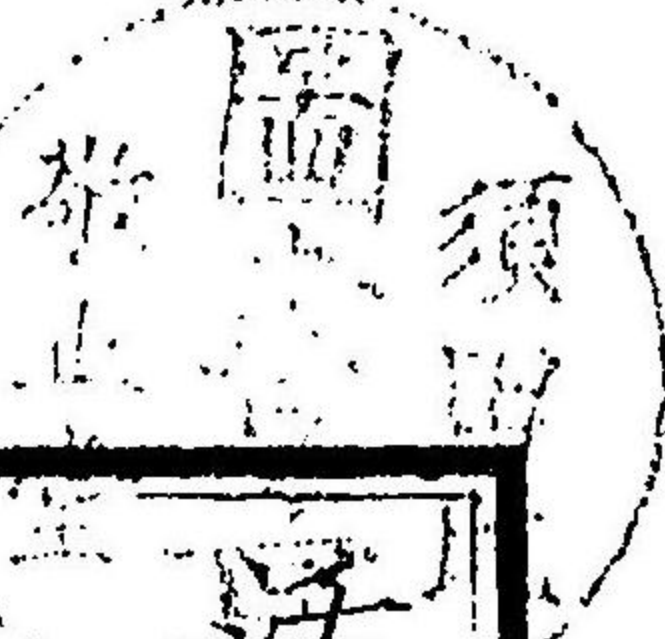
語彙活語指掌



210353

編輯寮

活語指掌



言語のよからぬをこころよからぬあり其の詞の活用と辭の

運用となり詞と云ふはあふおのふうくちる又あひおのふうき

あひあひかまればちるなごらあひとあひと接きさきさきとちるも接けりあひ

ちるもことごとく連用となりあひあひあひあひ用言さきさきとちるも用言なりと心

るべきやうの類あり辭と云ふはむしてつゆりーらむありむな

ふをむとむもの類なりおのむとむおのひておのふらんおのふ

むかひのむてらんむとむと辭なり餘りなむとて知るべし

辭の運用のこと又其意味等の別記ふ解

詞の活用の數十四種あむとむの十種を示す第一四段
活用第二段活用第三中二段活用第四下二段活用第五

言はる言はる言はる

加行變格活用第六 佐行變格活用第七 奈行變格活用第八

良行四段一格活用第九

等の十種 第一より第八までを作用言と 第九第十を形狀言とあり

語學せむとありの十種活用の順序を上より下へ 縦おすみ

かゝるひくそらふおぢぢあへーそのまゝふりてかむさきさく
 さけさむさむさむさむさむさむさおくおくるおくるえむう
 うれこれきくうこれせしすすれいなむいぬ
 いぬいぬいぬいぬいぬいぬありありありありありあり
 あさきあさきあさきあさきあさきあさきあさきあさきあさき

第一 四段活用

さかむ	おひ	たむ	あむ	すむ	ふむ
さき	おひ	たむ	あむ	すむ	ふむ
さく	おひ	たむ	あむ	すむ	ふむ
さけ	おひ	たむ	あむ	すむ	ふむ

カ	サ	タ	ハ	マ	フ
キ	シ	チ	ヒ	ミ	ビ
ク	ス	ツ	フ	ム	ブ
ケ	セ	テ	ヘ	メ	ベ

本書活語の下ふ加キクケなどゝあるもの即ち是なり

第二 一段活用

きむ	しむ	ふむ
きむ	しむ	ふむ
きむ	しむ	ふむ

キ	シ	フ
キ	シ	フ
キ	シ	フ

ミナモトノミヤ

〇ニ

将居	将射	将見	将干
あむ	ひむ	みむ	ひむ
居あむ	射ひむ	見みむ	干ひむ
居あれ	射みれ	見みれ	干ひれ

キ	ヒ	ミ	ヒ
ク	フ	ツ	
クル	フル	ツル	
クレ	フレ	ツレ	

第三 中二段活用

将恨	将戀	将落	将起
らみ	こひ	おち	おき
らむ	こふ	おつ	おく
らむる	こふる	おつる	おくる
らむれ	こふれ	おつれ	おくれ

キ	ヒ	チ	キ
ク	フ	ツ	ク
クル	フル	ツル	クル
クレ	フレ	ツレ	クレ

本書活語の下ふキキルキレなむらむるたむらむる即ちなむらむる

将得	将受	將瘦	將捨
えむ	けむ	せむ	てむ
得えむ	受けむ	瘦せむ	捨てむ
得えむる	受けむる	瘦せむる	捨てむる
得えむれ	受けむれ	瘦せむれ	捨てむれ

エ	ケ	セ	テ
ウ	ク	ス	ツ
ウル	クル	スル	ツル
ウレ	クレ	スレ	ツレ

本書活語の下ふキキルクルなむらむるたむらむる即ちなむらむる

第四 下二段活用

将得	将受	將瘦	將捨	将寝	将添
えむ	けむ	せむ	てむ	ねむ	へむ
得えむ	受けむ	瘦せむ	捨てむ	寝ねむ	添へむ
得えむる	受けむる	瘦せむる	捨てむる	寝ねむる	添へむる
得えむれ	受けむれ	瘦せむれ	捨てむれ	寝ねむれ	添へむれ

エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ
ウ	ク	ス	ツ	ス	フ
ウル	クル	スル	ツル	スル	フル
ウレ	クレ	スレ	ツレ	スレ	フレ

将譽	ほむ	将消	きゆ	将枯	か	将植	う
譽	む	消	ゆ	枯	る	植	む
譽	む	消	ゆ	枯	る	植	む
譽	む	消	ゆ	枯	る	植	む

メ	ム	ム	ム
エ	ユ	ユ	ユ
レ	ル	ル	ル
エ	ウ	ウ	ウ

本書活語の下小エウウルウレおどろきあつたるが即ちなり

第五 加行變格活用

将来	くる
来	き
来	く
来	くる
来	くれ

コ	キ	ク	クル	クレ
---	---	---	----	----

本書活語の下小コキククルレとあつたるが即ちなり

第六 佐行變格活用

将来	する
来	し
来	す
来	する
来	すれ

セ	シ	ス	スル	スレ
---	---	---	----	----

本書活語の下小セシススルレとあつたるが即ちなり

第七 奈行變格活用

将来	ぬ
来	ぬ
来	ぬ
来	ぬ
来	ぬれ

ナ	ニ	ヌ	ヌル	ヌレ
---	---	---	----	----

本書活語の下小ナニヌヌルレとあつたるが即ちなり

第八 良行四段一格活用

将来	あり
来	あ
来	あ
来	あ
来	あれ

リ	リ	リ	リ
---	---	---	---

本書活語の下小ラリルレとあつたるが即ちなり

作用言のうち第三中二段活用第四下二段活用第六佐行變格活用等ふりあつたと今と活用のたがひあり今といふは俗言の活用なり

中二段活用俗言格

将起	おきむ	おく	おキル	おキレ
将落	おちむ	おつ	おチル	おチレ
将戀	こひむ	こふ	こヒル	こヒレ
将恨	うらむ	うらむ	うらヒル	うらヒレ
将老	おんむ	おも	おイル	おイレ
将下	おりむ	おる	おリル	おリレ

キ	ク	キル	キレ
チ	ツ	チル	チレ
ヒ	フ	ヒル	ヒレ
ミ	ム	ミル	ミレ
イ	ユ	イル	イレ
リ	ル	リル	リレ

本書活語の下おキクキルキレをいふは、
 圖面におおきおくをひら假字ゆてあるせむのりや、
 今もめをいふは、
 さうとをかくるを今おキルといふ俗言をいふ圖をあるむ

下二段活用俗言格

将得	えむ	得	エ	エ
将受	うむ	う	ケ	ケ
将瘦	やせむ	やす	セ	セ
将捨	すてむ	すつ	テ	テ
将寝	ねむ	ね	ネ	ネ
将添	そむ	そふ	ヘ	ヘ
将譽	ほめむ	ほむ	メ	メ
将消	きむ	き	エ	エ
将枯	かれむ	かる	レ	レ
将植	うむ	植	エ	エ

エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ
ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ

五

五

本書活語の下ふエウエルエレなどある。たゞ即こまじなり

佐行變格活用俗言格

あ(ジ)ま(ト)あ(ホ)あ(ブル)あ(ン)ジレ
將案 案 案 案

ジジジジジジ

本書活語の下ふジジジジジとある。たゞ即こまじなり

こまじでの八種と作用言とらふ次はあぐる二種を形状言とらふ

第九第 クシキ活用

あ(ク) 浅
あ(キ) 浅

ク ン キ

本書活語の下ふクシキとある。たゞ即こまじなり

第十第 シクシシキ活用

こ(シ) 意
こ(シ) 意
こ(シ) 意

シク シ シキ

本書活語の下ふシクシシキとある。たゞ即こまじなり

如此片假字もてある。つゞてその詞ごの活用をまじしむ

されど初學の徒はら見てのこまじらうがたはまじなれば

まづ(か)き(く)け(さ)し(せ)と順序をよみあがめなれなり

こまじをよみあがむむたはるは作用言總圖をあらわして次

小示す 皇國言の活用ハ五十連音おれのぐらあたるものなれば

この圖をたらふよみあがめはよまじらひてきくは(か)む(さ)

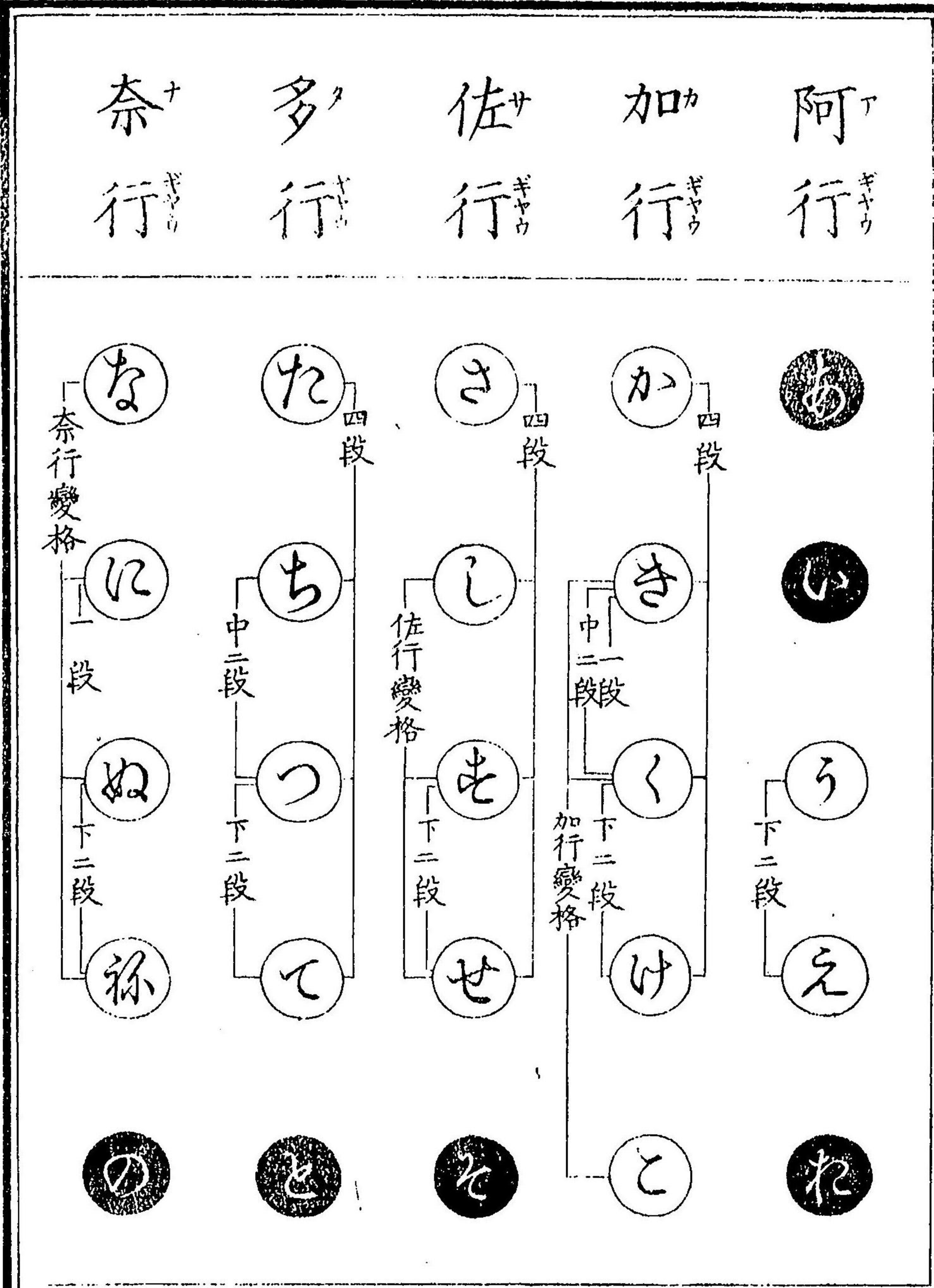
き(さ)ら(さ)け(と)をたらなて加行四段の活用なることあら

ま(お)す(い)お(さ)む(お)し(お)す(お)せ(と)をたらなて佐行四段の

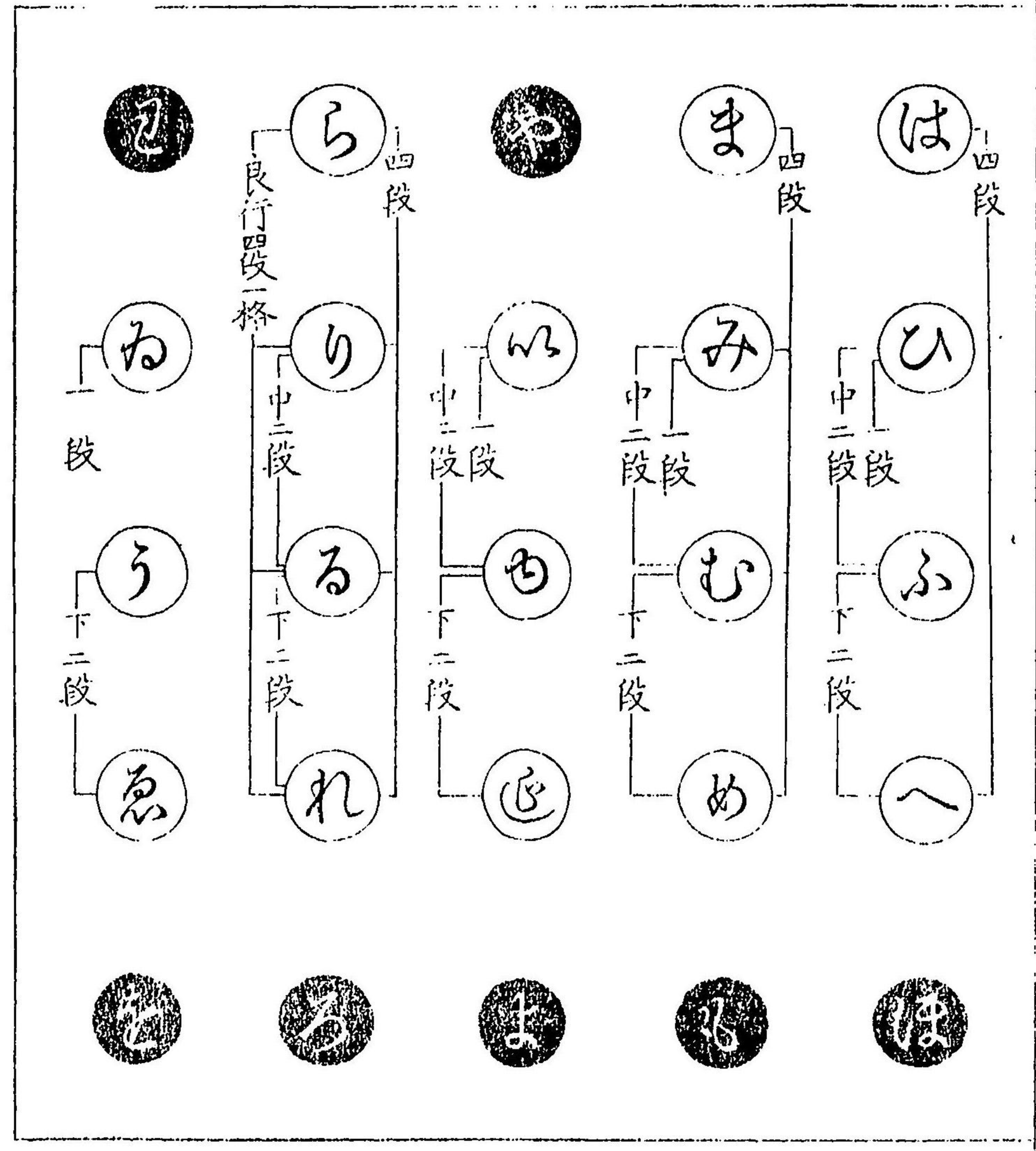
活用なることあら(か)よ(ま)ら(も)なり

作用言總圖

白字なるは活用ざる
まじりたり



波行 (ハ行) 四段: は, ひ, ふ, へ, ぼ
 麻行 (マ行) 四段: ま, み, む, め, む
 也行 (ヤ行) 四段: や, ゆ, ぶ, ぶ, む
 良行 (ラ行) 四段: ら, り, る, れ, る
 和行 (ワ行) 四段: わ, ゐ, う, 急, 急



次の活語指掌圖をあらわして示すものもある上よあが
 たる作用言總圖をおげえ得たらむのち形状言のあ
 らむしをみるおげえむがためなり作用言と形状言とを
 みるはまづ活用ハタラクごま一にわりのなふごとくのことならざ
 らむとせよこの圖をよみおげえむよつきてこころづか
 ことあり將然言とあるせるその朱線スジのうらまざるかぎ
 りまざるものしむしむし詞なることかむおむとやふ
 しの辭イハレをそへるはさかとのこひひての詞とのまざる
 よとつづるやなもろもろ一されが將然言のうらまひ
 こひひくむの辭イハレをそへたりかへておむもなむらひ得を

ねのづから將然言の意もよやくまらむとあらんとおひめれ
 ばどうし次は連用言とりの用言より用言へつづく詞ある
 こころまらむしむしこの詞よりやうい用言へつづくきよふおしやんとその詞
 ごとくおまらむしなるをよみつひておむらひまらむし終止言と
 りの語意とよまてのひをとるなり連體言とりの用言よ
 り體言おはむし詞なるがゆゑよかくらふなりこの詞よりやうい
 さの花おす車と體言へらひつゞるをらふその詞ごらむ
 るはなまらむよみつひてのちひまらむし巴然言といふ
 りまらむよまらむなりたることとさし詞あり花とをいさの車を
 こころおせといひ又花さけば車とおせばなどの類なりし

六第	五第	四第	第三
格變行佐	格變行加	段	下
聖 爲	來	植枯消譽添寢捨瘦受得	
①せむ	①こむ	①名む ①れむ ①消む ①譽む ①添む ①寢む ①捨む ①瘦む ①受む ①得む	
①しむ	①きむ	けむ ちむ ぬむ けむ ぬむ ぬむ ぬむ ぬむ ぬむ ぬむ	
①そむ	①くむ	①字む ①るむ ①由む ①むむ ①あむ ①ぬむ ①つむ ①せむ ①くむ ①うむ	
①そむ	①うむ	①字む ①るむ ①雪む ①事む ①物む ①床む ①物む ①身む ①物む ①實む	
①そむ	①れむ	①字む ①るむ ①れむ ①れむ ①れむ ①れむ ①れむ ①れむ ①れむ ①れむ	

とれより二種と形状言とあり

別記

第十	第九	第八	第七
格變行良	格變行奈	格一段四行良	格變行奈
悲 戀	深 淺	居 有	死 往
①あむ	①なむ	①らむ	①なむ
①しむ	①しむ	①りむ	①にむ
①きむ	①きむ	①るむ	①ぬむ
①れむ	①れむ	①れむ	①れむ

とれより二種と作用言とあり

上は擧げたる指掌圖をよくよく仔細に読みつゞけ其俗意をあらわすにやか心得がうさるあつて十種活用はなぞく俗意をあてて童蒙のなづりとす但し連體言の結詞（結詞）結辭と係辭（結辭）をむすぶと名なりされどその今もなほさすなればつとめて圖面の俗意をあらを要とわたりふべしふなれらるるの俗解せらるるのさく花（花）おす車（車）なぞのひつゞる類のひよくも今もかゝることわじく別は俗解もなほあはれぬとびぞか

又さよ心もさささ終止言をかりお（輕）と記しと示す連體言の（重）と記しはとて示す四段活用一段活用終止と連體とをなほも圖せれば早く見らむあつてよやく讀て味もなほ

段四行多	段四行佐	段四行加
<p>將然<small>（た）</small>むタウウ かう風が吹てのりのを 見ると居らるるを サアくとやうタウウ</p>	<p>將然<small>（さ）</small>む オウウ この車はなほさうやも い車やアハもてう たうとオウウ</p>	<p>將然<small>（さ）</small>む サウウ のりやまつらるる花 なつてややがて一両日 のりや花がサウウ</p>
<p>連用<small>（ち）</small>とる 何事の出来たらん あの人を見物をする けたた<small>（ち）</small>とるマ</p>	<p>連用<small>（し）</small>やう わのい車とみゆや やうのさうを やうマ</p>	<p>連用<small>（さ）</small>はひ 今日の花がさかりや 大きうさうはひマ</p>
<p>終止<small>（つ）</small> タツマ 物とて居られ なつてのさうマ 重たうの飽つた うらさうのやう タツワイ</p>	<p>終止<small>（ま）</small> オシマ 道がさうの車の オシマ 重あの車やがあれ あのかうオスワイ</p>	<p>終止<small>（く）</small> サキマ 輕風はさむの花 サキマ 重あつてのうら 花がまののやう オシクワイ</p>
<p>已然<small>（て）</small> タツマ 其場をさうあつて おまらるるタツマ マア</p>	<p>已然<small>（せ）</small> オシマ ようさうの重い車 をオシタガマア</p>	<p>已然<small>（け）</small> サカマ きののさうの花のサイ タカマア</p>

波 行 四 段	麻 行 四 段	良 行 四 段
<p>將然 あ (は) む ア の ウ</p> <p>ゆふくもあーたい こともあるチヤリウ も明日茶屋マア のウ</p>	<p>連用 あ (ひ) みる</p> <p>とくもあをよぬこ よも思ふた今日 うもよもあ (ひ) みマ ス</p>	<p>連終 止 体 あ (ふ)</p> <p>アヒマス アフワイ</p>
<p>將然 せ (ま) せ ス の ウ</p> <p>このゆふまきわあ 家ゆへ永く居る氣 のちマアチヨツと ス (マ) ウ</p>	<p>連用 せ (み) まつる</p> <p>仕まじるだこの 家不住で居るけ おきなまきま (め) す てマス</p>	<p>連終 止 体 せ (む)</p> <p>スミマス スムワイ</p>
<p>將然 ふ (ら) む フ の ウ</p> <p>たのきう雲が出 來たチヤやく大雨 フ (マ) ウ</p>	<p>連用 ふ (り) くる</p> <p>まつらふちうて大 雨がふ (り) きマス</p>	<p>連終 止 体 ふ (る)</p> <p>フリマス フルワイ</p>
<p>將然 ち (き) せ</p> <p>秋風がたつてゆふまき くちうたチヤ裕を ウ</p>	<p>連終 止 体 ち (き) せ</p> <p>キルワイ</p>	<p>已然 ち (せ)</p> <p>キタガマア</p>

加 行 一 段	奈 行 一 段	波 行 一 段
<p>將然 ち (き) せ</p> <p>秋風がたつてゆふまき くちうたチヤ裕を ウ</p>	<p>連用 ち (き) せ</p> <p>あたらしい衣服ゆふまき をうてきふゆふ一雨日 ち (き) せ</p>	<p>連終 止 体 ち (き) せ</p> <p>キルワイ</p>
<p>將然 ち (き) せ</p> <p>先生のち (き) せを見 らうなら後ゆふまき ウ</p>	<p>連終 止 体 ち (き) せ</p> <p>ニルワイ</p>	<p>已然 ち (せ)</p> <p>ニタガマア</p>
<p>連用 ち (き) せ</p> <p>先生のち (き) せを見 らうなら後ゆふまき ウ</p>	<p>連終 止 体 ち (き) せ</p> <p>ニルワイ</p>	<p>已然 ち (せ)</p> <p>ヒタガマア</p>
<p>將然 ち (き) せ</p> <p>先生のち (き) せを見 らうなら後ゆふまき ウ</p>	<p>連終 止 体 ち (き) せ</p> <p>ニルワイ</p>	<p>已然 ち (せ)</p> <p>ヒタガマア</p>
<p>連用 ち (き) せ</p> <p>先生のち (き) せを見 らうなら後ゆふまき ウ</p>	<p>連終 止 体 ち (き) せ</p> <p>ニルワイ</p>	<p>已然 ち (せ)</p> <p>ヒタガマア</p>

ニルワイ

〇十二

麻一行一段		也一行一段		和一行一段					
<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>その書もみくもい物ヤヤガ 今日ハ見らぬ明リン(①)ヤウ</p> <p>連用 (み) あきらむ</p> <p>晝夜つとめそんご故らじづ かしの書なむとわらむら(①) あきらめマ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>今日ひいままヤふよつ 書よこマ</p> <p>重 此書ハわらふの書のヤ からここのやう小イルワイ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>ミルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>今日をあくまで書物を ミタガマア</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>ミルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>今日をあくまで書物を ミタガマア</p>	<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>弓を射たいののヂヤガワを かしの書なむとわらむら(①) あきらめマ</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>弓勢とわらむのわらむら ののヂヤ権も中も(①)とほ マス</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>下手でいふる尺貫の的 なすイルマス</p> <p>重 達者よわれバカけ鳥 もこのやうイルワイ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>尺貫の的をのまをこ やうくイタガマア</p>	<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>世話小なりぬる至つて氣の どくぢりもあつたわらむら まら(①)とほと</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>あの人ハつとめそんごぬら いじめの氣をりんがわらむ あつたマス</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>輕つとめなまらここのやう 重 御家の奉公ゆゑにた らい</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>よく奉公せむはこを十年 あつたマス</p>

加一行一段		中一行一段		多一行一段		行中一段		波中一段		中一段		
<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>夜中夜中あけのヂヤ あきトウ</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>夜中夜中あけのヂヤ あきトウ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>夜中夜中あけのヂヤ あきトウ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>昨夜の大風が 早くオキタガマア</p>	<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>風があつたら柿が オチマス</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>風があつたら柿が オチマス</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>昨夜の大風が 早くオキタガマア</p>	<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>あきトウ</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>あきトウ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>昨夜の大風が 早くオキタガマア</p>	<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>あきトウ</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>あきトウ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>昨夜の大風が 早くオキタガマア</p>	<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>あきトウ</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>あきトウ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>昨夜の大風が 早くオキタガマア</p>	<p>將然 (み) ち (①) ヤウ</p> <p>あきトウ</p> <p>連用 (み) とほと</p> <p>あきトウ</p>	<p>終止 (み) みる</p> <p>イルマス イルワイ</p> <p>已然 (み) れ</p> <p>昨夜の大風が 早くオキタガマア</p>

府	行	也	良
將然ららぬ(ぬ)ウラミマス	終止ららぬ(ぬ)ウラミマス	終止ららぬ(ぬ)ウラミマス	終止ららぬ(ぬ)ウラミマス
連体ららぬ(ぬ)ウラミマス	連体ららぬ(ぬ)ウラミマス	連体ららぬ(ぬ)ウラミマス	連体ららぬ(ぬ)ウラミマス
已然ららぬ(ぬ)ウラミマス	已然ららぬ(ぬ)ウラミマス	已然ららぬ(ぬ)ウラミマス	已然ららぬ(ぬ)ウラミマス

阿	加	佐	行
將然ららぬ(ぬ)ウラミマス	終止ららぬ(ぬ)ウラミマス	終止ららぬ(ぬ)ウラミマス	終止ららぬ(ぬ)ウラミマス
連体ららぬ(ぬ)ウラミマス	連体ららぬ(ぬ)ウラミマス	連体ららぬ(ぬ)ウラミマス	連体ららぬ(ぬ)ウラミマス
已然ららぬ(ぬ)ウラミマス	已然ららぬ(ぬ)ウラミマス	已然ららぬ(ぬ)ウラミマス	已然ららぬ(ぬ)ウラミマス

五口五口五口

<p>多 將然まて(て)むス(ヤウ)ヤウ</p> <p>このやうな物(の)から(と)あても買(い)ん(が)ない(ら)ス(ヤウ)</p> <p>連用まて(て)やる</p> <p>用(の)た(の)ち(の)ら(の)この(の)ま(の)せ(の)や(の)マ(ス)</p>	<p>終止まて(て) ステマス</p> <p>さ(の)ね(の)い(の)り(の)チ(ヤ)カ(リス)テ(マ)ス</p>	<p>連体まて(て) ステルワイ</p> <p>い(の)ら(の)ぬ(の)り(の)チ(ヤ)カ(リ)こ(の)ま(の)せ(の)ゆ(の)ステ(ル)ワイ</p>	<p>已然まて(て) ステタガマア</p> <p>キ(の)あ(の)ち(の)の(の)チ(ヤ)カ(リ)思(い)へ(る)こ(の)ま(の)せ(の)ゆ(の)ステ(ル)タ(ガ)マ(ア)</p>
<p>奈 將然(ね)む (ヤウ)ヤウ</p> <p>大(お)き(な)う(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)ヤ(ウ)</p> <p>連用(ね)やまむ</p> <p>い(の)そ(の)い(の)ま(の)の(の)そ(の)う(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)早(い)く(ね)や(マ)ス</p>	<p>終止(ね) ネマス</p> <p>夜(よ)が(更)か(ら)ら(ネ)マ(ス)</p>	<p>連体(ね) ネルワイ</p> <p>酒(さ)か(の)あ(の)ち(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)早(い)く(ね)ル(ワイ)</p>	<p>已然(ね) ネタガマア</p> <p>昨(きの)夜(よ)の(よ)う(の)く(の)ネ(タ)ガ(マ)ア</p>
<p>波 將然そ(そ)む (ヤウ)ヤウ</p> <p>こ(の)ま(の)せ(の)進(しん)物(ぶつ)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)今(いま)一(ひと)品(ひん)を(を)ま(の)り(ヤウ)</p> <p>連用そ(そ)おくる</p> <p>こ(の)ま(の)せ(の)進(しん)物(ぶつ)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)今(いま)一(ひと)品(ひん)を(を)ま(の)り(マ)ス</p>	<p>終止そ(そ) ソヘマス</p> <p>品(ひん)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)今(いま)一(ひと)品(ひん)ソ(ヘ)マ(ス)</p>	<p>連体そ(そ) ソルワイ</p> <p>品(ひん)物(ぶつ)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)今(いま)一(ひと)品(ひん)ソ(ル)ワイ</p>	<p>已然そ(そ) ソヘタガマア</p> <p>品(ひん)物(ぶつ)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)今(いま)一(ひと)品(ひん)ソ(ヘ)タ(ガ)マ(ア)</p>

<p>麻 將然ほ(め)む (ヤウ)ヤウ</p> <p>此(この)度(たび)の(の)狂(きやう)言(ごん)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(ヤウ)</p> <p>連用ほ(め)た(あ)る</p> <p>此(この)度(たび)の(の)狂(きやう)言(ごん)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(マ)ス</p>	<p>終止ほ(め) ホメマス</p> <p>狂(きやう)言(ごん)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(マ)ス</p>	<p>連体ほ(め) ホルワイ</p> <p>狂(きやう)言(ごん)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(ル)ワイ</p>	<p>已然ほ(め) ホメタガマア</p> <p>見(み)え(る)狂(きやう)言(ごん)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(ル)ワイ</p>
<p>也 將然き(き)む (ヤウ)ヤウ</p> <p>た(の)い(の)ま(の)せ(の)小(こ)雪(ゆき)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)春(はる)の(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)早(い)く(ね)キ(マ)ス</p> <p>連用き(き)おくる</p> <p>春(はる)の(の)ま(の)せ(の)小(こ)雪(ゆき)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(マ)ス</p>	<p>終止き(き) キエマス</p> <p>あ(の)つ(の)ま(の)せ(の)小(こ)雪(ゆき)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)春(はる)の(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)早(い)く(ね)キ(エ)マ(ス)</p>	<p>連体き(き) キエルワイ</p> <p>春(はる)の(の)ま(の)せ(の)小(こ)雪(ゆき)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(ル)ワイ</p>	<p>已然き(き) キエタガマア</p> <p>春(はる)の(の)ま(の)せ(の)小(こ)雪(ゆき)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(ル)ワイ</p>
<p>良 將然か(れ)む (ヤウ)ヤウ</p> <p>も(の)ら(の)ま(の)せ(の)小(こ)草(くさ)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)冬(ふゆ)の(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)早(い)く(ね)カ(レ)マ(ス)</p> <p>連用か(れ)あがむ</p> <p>も(の)ら(の)ま(の)せ(の)小(こ)草(くさ)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(マ)ス</p>	<p>終止か(れ) カレマス</p> <p>冬(ふゆ)の(の)ま(の)せ(の)小(こ)草(くさ)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)世(よ)間(ま)を(を)ま(の)り(マ)ス</p>	<p>連体か(れ) カルワイ</p> <p>霜(しも)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)冬(ふゆ)の(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)早(い)く(ね)カ(ル)ワイ</p>	<p>已然か(れ) カレタガマア</p> <p>霜(しも)が(ま)ど(く)か(ら)い(の)ら(の)冬(ふゆ)の(の)ま(の)せ(の)ま(の)し(の)た(の)ま(の)く(の)早(い)く(ね)カ(レ)タ(ガ)マ(ア)</p>

五口下 五口下

上野屋の言ひ書

和行二段		加行變格		佐行	
將然 (あ) じやうぜん	終止 (う) しょうし	終止 (く) しょうし	連体 (る) れんたい	終止 (ん) しょうし	連用 (せ) じやうぜん
早苗が大さふのひびき きよ一雨日のふりし しやうやう	日がらもよみくら早 苗をウエマス	出づりてはか ら我が家の人 がよきキマス	友だちとりのりの わらわらしいり ぢやうのあまも あまのやま クルワイ	よい人とりあの 別段あめのよ こしけりシマス	あの人何とて このやういふ のぢやういふ 今よ②ヤウ
連用 (る) れんたい	連体 (る) れんたい	連体 (る) れんたい	連体 (る) れんたい	連用 (し) じやうぜん	連用 (せ) じやうぜん
早苗がうらやま なや吉日のあま らう	水が十分の行 なまはせも苗を あまのゆりゆ ルワイ	友だちとりのりの わらわらしいり ぢやうのあまも あまのやま クルワイ	かた人の別段 年よりても毎日 のつらあま あまのやま クルワイ	運のよきあの あまのあま 一生のあま ①よマ	あまのあま あまのあま あまのあま あまのあま
終止 (う) しょうし	終止 (う) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし
ウエマス	ウエルワイ	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア
連体 (る) れんたい	連体 (る) れんたい	連体 (る) れんたい	連体 (る) れんたい	連体 (る) れんたい	連体 (る) れんたい
ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア
終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし
ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア

奈行變格		變格		變格	
將然 (い) じやうぜん	終止 (ぬ) しょうし	終止 (ぬ) しょうし	連体 (い) れんたい	終止 (ぬ) しょうし	連用 (い) じやうぜん
そのゆく小慕ふ なつらひじか なつらひじか	けあひゆりの こを故郷の ニマス	我君の只今この とらふ小オハ マス	長旅のつら と見えてゆり の體でわれ やう小ニスルワイ	患苦をわあ給ふ 君かれはをこの やうな國ゆり オハニタガマア	御座りぬ たひの回数 つらひじか なつらひじか なつらひじか
連用 (い) じやうぜん	連体 (い) れんたい	連体 (い) れんたい	連体 (い) れんたい	連用 (い) じやうぜん	連用 (い) じやうぜん
足よとぢやわ なつらひじか ニマス	水が十分の行 なまはせも苗を あまのゆりゆ ルワイ	友だちとりのりの わらわらしいり ぢやうのあまも あまのやま クルワイ	かた人の別段 年よりても毎日 のつらあま あまのやま クルワイ	あまのあま あまのあま あまのあま あまのあま	あまのあま あまのあま あまのあま あまのあま
終止 (ぬ) しょうし	終止 (ぬ) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし
ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア
連体 (い) れんたい	連体 (い) れんたい	連体 (い) れんたい	連体 (い) れんたい	連体 (い) れんたい	連体 (い) れんたい
ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア
終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし	終止 (ん) しょうし
ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア	ウエガマア

活き活き用

連用かな (1) あひひ 情おせずれい涙がとや まそかな (1) あひひ マス	終止かな (1) カナシイヤ 情おせずれい涙がとや イナヤ	連体かな (1) カナシイワイ 情おせずれい涙がとや やふかなシイワイ	已然かな (1) カナシガマア 情おせずれい涙がとや わふかなシイワイ シイガマア
--	-------------------------------------	---	--

形状言

ルー き活用
あひひ き活用

の詞のまゝ——小本書活語の條下小ク

シキシクシキシキとまる——ならん省畧せるふくシキケレ

シクシキシキシケレ——いふいふあまのうらこと

志げくならんをさへづらふ——ひまなぶともふくを志か心得く
えるふ——

○この書本書活語の條下あひひせる活用をたねまぐとて
まむとてかく圖小あひひをさへづらふをさへづらふとて
のら別記をえさへづら別記をさへづらあまのうら時
詞の活用辭の運用とのふあまのうらあひひるるなり

吉野公家書



